

歳出科目（P180～P181）	3款1項5目	老人福祉費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
老人保護措置費等	107,942	118,474	△10,532

主な財源		主な経費	
分担金及び負担金	1,099	需用費	3,044
一般財源	106,843	使用料及び賃借料	1,979
		役務費	270
		委託料	96,055
		工事請負費	3,895
		備品購入費	2,602

養護老人ホームへの入所措置、軽費老人ホームの管理運営を通して、在宅生活が困難な高齢者の生活の安定を図る。

○老人保護措置事業 8,505

【目的】

家庭環境や経済的な理由により、在宅生活が困難な高齢者の安定した生活を支援する。

【実施内容】

施設入所状況及び委託料

施設名	措置人数	委託料
養護老人ホーム春日園（群馬県渋川市）	2人	5,659
養護盲老人ホーム胎内やすらぎの家（胎内市）	1人	2,749
合計	3人	8,408

○軽費老人ホーム管理運営事業 99,437

【目的】

家庭環境や住宅事情等の理由により、在宅生活が困難な高齢者に対し、低料金で安心して利用できる施設を提供する。

【実施内容】

(1) 施設概要及び委託料

施設名	定員	委託料	指定管理者
千寿園（寺町3丁目）	50人	55,625	(福)上越老人福祉協会
ケアハウス上越（新光町3丁目）	30人	31,818	(福)上越老人福祉協会
合計	80人	87,443	

(2) 修繕の内訳

施設名	内容	予算
千寿園	トイレ便座取替修繕、廊下壁紙張替修繕 電灯変圧器修繕、非常用バッテリー取替修繕、玄関土間修繕	2,100
ケアハウス上越	廊下照明器具取替修繕、食堂照明不点灯修繕	944
合 計		3,044

(3) 工事の内訳

施設名	内容	予算
ケアハウス上越	電話設備更新工事	3,286
	食堂洗面台設置工事	609
合 計		3,895

(4) 備品購入費の内訳

施設名	内容	予算
千寿園	スチームコンベクションオープン	1,862
	小型除雪機	520
ケアハウス上越	冷蔵庫	220
合 計		2,602

歳出科目（P180～P181）	3款1項5目	老人福祉費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
老人短期入所事業	58	57	1

主な財源		主な経費	
一般財源	58	扶助費	58

【目的】

介護保険の支給限度額を超えて短期入所（ショートステイ）を利用する必要がある低所得者に、介護保険と同様の自己負担額で利用できるよう助成する。

【実施内容】

(1) 対象者

次のいずれにも該当する人

- ・要介護・要支援認定者で介護者の疾病等により支給限度額を超えて短期入所の利用が必要な人
- ・介護保険サービス利用者負担金助成認定証の交付を受けている人又は生活保護受給者

(2) 内容

要介護・要支援認定者が、緊急かつやむを得ない事由で短期入所を利用したことにより介護保険法に定められた居宅サービス等区分支給限度基準額を超過した場合に、介護保険と同様に1割の自己負担で利用できるよう、7日分を限度として利用料の9割を助成する。

歳出科目（P180～P181）	3款1項5目	老人福祉費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
日常生活用具助成事業	32,337	32,876	△539

主な財源		主な経費	
市債	7,600	委託料	32,307
一般財源	24,737	扶助費	30

【目的】

健康に不安を抱える低所得のひとり暮らし高齢者世帯等の緊急通報手段を確保し、安心して日常生活を送ることができるよう支援する。

【実施内容】

対象者の利用申請に基づき、緊急通報装置を貸与する。

- (1) 対象者 市民税所得割非課税のおおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯等
- (2) 貸与状況

区分	令和3年度 (見込み)	令和4年度
緊急通報装置（件）	983	979
シルバーホンあんしんS（件）	4	4

歳出科目（P180～P181）	3款1項5目	老人福祉費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
紙おむつ助成事業	50,828	50,773	55

主な財源		主な経費	
一般財源	50,828	役務費	548
		扶助費	50,280

【目的】

在宅で介護を受けている寝たきりの高齢者等に紙おむつを支給することにより、健やかで心地よい生活を支援する。

【実施内容】

- (1) 対象者 在宅で要介護1～5の認定を受け、常時紙おむつを必要としている市民税所得割非課税世帯の人
- (2) 支給方法 紙おむつと引換えできる支給券を交付
- (3) 支給内容

支給対象者	支給上限額
要介護1・2の人	月額3,500円（年額42,000円）
要介護3の人	月額4,000円（年額48,000円）
要介護4・5の人	月額5,000円（年額60,000円）

- (4) 支給状況

区分	令和3年度 （見込み）	令和4年度
登録者数（人）	1,278	1,233
要介護1・2	665	641
要介護3	290	280
要介護4・5	323	312

歳出科目 (P 180～P 181)	3 款 1 項 5 目	老人福祉費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
在宅福祉支援事業	15,848	16,880	△1,032

主な財源		主な経費	
一般財源	15,848	報酬	3,771
		職員手当等	762
		共済費	792
		旅費	222
		役務費	1,277
		扶助費	8,991

高齢者が安心して在宅で生活を営めるよう、高齢者と高齢者を支える介護者の負担軽減や地域の見守り支援等を通じて、福祉の増進を図る。

○寝具丸洗い・乾燥サービス事業 7,238

【目的】

寝具の衛生管理が困難な要介護、要支援認定者やひとり暮らし高齢者等に、寝具の丸洗い・乾燥サービスを提供することにより、在宅で快適な生活を営めるよう支援する。

【実施内容】

(1) 実施内容

<要支援以上の認定を受けた人>

区分	回数と負担額
丸洗い	年2回(5月・11月)
乾燥	月1回(5月・11月を除く)
市民税所得割 課税世帯の 自己負担額	介護保険負担割合が1割(相当) 丸洗い480円、乾燥300円(費用のおおむね1割)
	介護保険負担割合が2割・3割(相当) 丸洗い960円、乾燥600円(費用のおおむね2割)

<ひとり暮らし高齢者世帯又は高齢者のみ世帯で寝具の衛生管理が困難な人>

区分	回数と負担額
丸洗い	年1回(11月)
乾燥	月1回(11月を除く)
市民税所得割 課税世帯の 自己負担額	介護保険負担割合が1割(相当) 丸洗い480円、乾燥300円(費用のおおむね1割)
	介護保険負担割合が2割・3割(相当) 丸洗い960円、乾燥600円(費用のおおむね2割)

※市民税所得割非課税世帯は、自己負担なし

(2) 利用状況

区 分		令和3年度 (見込み)	令和4年度
登録者数 (人)		421	411
利用件数 (件)	丸洗い	536	519
	乾 燥	1,724	1,617
	合 計	2,260	2,136

○訪問理・美容サービス事業 1,931

【目的】

理・美容店へ行くことが困難な要介護認定者に、訪問理・美容サービスを提供することにより、在宅で快適な生活を営めるよう支援する。

【実施内容】

- (1) 対 象 者 要介護1～5の認定者で、理容店や美容院へ行くことができない人
- (2) 限度回数 年間6回
- (3) 助 成 額 出張費1件1,500円(理・美容料金は本人の負担)
- (4) 利用状況

区 分	令和3年度 (見込み)	令和4年度
利用件数 (件)	1,524	1,581

※施設への出張については、午前・午後を単位として、複数人を整髪した場合であっても1回の出張として扱う。

○高齢者福祉相談事業 5,431

【目的】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、市民からの高齢者福祉に関する相談に対応するとともに、高齢者福祉サービスの紹介や関係機関との調整を行う。

【実施内容】

福祉総合窓口センターに高齢者福祉相談員2人を配置し、窓口での介護保険サービス等の申請受付及び高齢者福祉相談業務を実施する。

○救急医療・災害時支援情報キット配付事業 1,132

【目的】

65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、救急医療・災害時支援情報キットを配付し、急病時や災害時において、一人一人の状態に合わせた迅速な救命救急活動ができるよう支援する。

【実施内容】

- (1) 新規の対象者にキットを配付するほか、情報シートの更新時期を迎える対象者に更新シートを配付する。自身で記入が困難な人においても、キットが適切に利用されるよう、居宅介護支援事業所等と連携し記載支援を行う。
- (2) 居宅介護支援事業所等の協力を得て情報シートの記載事項の確認を行い、救命救急活動の確実性の向上を図る。

「救急医療・災害時支援情報キット」



【概要】

かかりつけ医療機関、服薬や持病等の医療情報、緊急連絡先等を記入した情報シートを入れた筒状の容器で、冷蔵庫や非常用持出袋に保管し、急病時等における迅速な救命救急活動に役立てる。

【内容物】

- ・情報シート
- ・マグネット（冷蔵庫に貼付）
- ・ステッカー（玄関の内側に貼付）

【情報シートの更新期間】

2年間

○高齢者見守り支援ネットワーク事業

【目的】

高齢者が住み慣れた地域で安全に安心して暮らせるよう、地域住民や民生委員・児童委員、協力事業所、関係機関、行政が連携し、地域全体で高齢者等の見守り支援をする。

【実施内容】

- (1) 民生委員・児童委員、町内会、関係機関に加え、地域包括支援センターや住民組織に対して、各地域（地域自治区単位など）の実情に合わせた形での見守り支援活動を働きかけ、広く地域の皆さんが高齢者の異変を早期発見する取組につなげる。
- (2) 高齢者等見守り支援協力事業所へ見守りに関する情報提供を行う。

歳出科目 (P 182～P 183)	3 款 1 項 5 目	老人福祉費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
老人福祉対策事務費	11,995	15,286	△3,291

主な財源		主な経費	
諸収入	38	報酬	5,276
一般財源	11,957	役員手当等	1,003
		共済費	1,136
		役務費	690
		委託料	1,885
		使用料及び賃借料	1,298

高齢者福祉業務に係るシステムの運用管理及び事務に必要な経費を計上し、業務を円滑に遂行する。

○老人対策事務費 10,628

【目的】

高齢者福祉業務に係るシステムや車両等の管理を適切に行い、円滑に業務を遂行する。

【実施内容】

高齢者福祉業務に係る事務費（会計年度任用職員報酬、複写機借上料、車両経費他）

○避難行動要支援者支援事業 1,367

【目的】

避難行動要支援者名簿の更新、個別避難計画の作成など、避難行動要支援者の支援体制を整備し、災害発生時における安否確認や避難誘導の迅速かつ円滑な支援につなげる。

【4年度目標】

個別避難計画が策定されていない全ての町内会において、支援方法が検討されている状態とする。

【実施内容】

- ・民生委員・児童委員の協力を得ながら、避難行動要支援者名簿の更新・整備を行うとともに、町内会（自主防災組織）や関係機関（警察署、消防署、地域包括支援センター等）へ名簿情報を提供し、災害時の避難支援体制を構築する。
- ・個別避難計画が未作成の町内会に対し、作成にかかる課題・問題を聞き取り、技術的な助言を行うなど、計画作成に向けた支援を行う。

○福祉避難所

【目的】

災害発生時において、福祉避難所避難対象者が直接、福祉避難所へ避難できる体制を整える。

【実施内容】

- ・福祉避難所避難対象者の名簿更新を3か月ごとに行い、町内会、民生委員・児童委員等に情報提供を行う。
- ・町内会の協力を得ながら、福祉避難所避難対象者の避難支援者の選定を行う。

歳出科目 (P 182～P 183)	3 款 1 項 5 目	老人福祉費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
住宅環境整備事業	10,135	9,359	776

主な財源		主な経費	
県支出金	5,067	負担金補助及び交付金	
一般財源	5,068		10,135

【目的】

高齢者の身体状況に適した住宅の改造等に必要な経費を補助することにより、高齢者が住み慣れた家で安心して自立した生活を送ることができるようにするとともに、介護者の負担軽減を図る。

【実施内容】

- (1) 対象者 前年の世帯合計収入が 600 万円未満で、要介護・要支援認定を受けた 65 歳以上の人
- (2) 補助限度額 30 万円（県の補助基準と同額）
- (3) 補助率 生活保護世帯 10/10（限度額 30 万円）
 所得税非課税世帯 3/4（限度額 22.5 万円）
 所得税課税世帯 1/2（限度額 15 万円）
- (4) 対象経費 玄関・浴室・トイレ・居室・廊下の改造費用
 段差解消機・階段昇降機・ホームエレベーターの設置費用
- (5) 補助件数

区分	令和 3 年度 (見込み)	令和 4 年度
補助件数 (件)	53	59

歳出科目（P182～P183）	3款1項5目	老人福祉費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
シルバー人材センター費	19,270	19,237	33

主な財源		主な経費	
一般財源	19,270	需用費	75
		役員費	32
		委託料	1,192
		負担金補助及び交付金	17,971

【目的】

シルバー人材センターへの支援を通して、高齢者に就労を通じた生きがいの場を提供し、地域社会を活性化する。

【実施内容】

- (1) シルバー人材センター補助金等交付事業 17,971
 - ・上越市シルバー人材センターの運営費を補助
 - ・賛助会員となっている新潟県シルバー人材センター連合会及び全国シルバー人材センター事業協会の会費を負担
- (2) シルバープラザ上越の維持管理 1,299
 - ・機械警備業務委託、日常清掃業務委託、電気工作物保安管理業務委託、消防用設備点検業務委託、貯水槽清掃・消毒業務委託

歳出科目 (P 182～P 183)	3 款 1 項 5 目	老人福祉費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
敬老祝賀事業	43,274	42,260	1,014

主な財源		主な経費	
一般財源	43,274	報酬	38
		報償費	2,407
		旅費	2
		需用費	35
		役務費	32
		委託料	40,760

家族や地域住民が、長年にわたり社会の発展に貢献した高齢者を敬愛する心豊かな地域社会づくりを促進する。

○敬老会 42,491

【目的】

市と地域による敬老会等の実施を通して、長年にわたり地域に貢献してきた高齢者の長寿を祝福し、感謝の意を表するとともに、地域や参加者同士の交流を図る。

【実施内容】

- (1) 対象者 75 歳以上の高齢者
- (2) 内容
 - ・地区敬老会の開催又は祝品の贈呈を町内会等地域団体や住民組織等に委託するとともに、開催に向けて地区敬老会の準備マニュアル、アトラクションの事例集の配付等の支援を行う。
 - ・上記の委託ができない場合、町内会や高齢者等入居施設を通じて、市が用意する祝菓子等を配付する。

○100 歳祝賀事業 783

【目的】

祝賀対象者の長寿を祝い、長年にわたる社会への尽力に感謝の意を表する。

【実施内容】

- (1) 対象者 令和 4 年度中に 100 歳を迎える高齢者(大正 11 年 4 月 1 日から大正 12 年 3 月 31 日の間に出生した人) 124 人(令和 4 年 1 月末現在)
- (2) 内容 対象者の自宅等を訪問し、祝状と記念品を贈呈する。

歳出科目（P182～P183）	3款1項5目	老人福祉費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
老人趣味の家等管理運営費	20,700	19,579	1,121

主な財源		主な経費	
寄附金	90	報償費	2,580
諸収入	2,822	需用費	2,354
一般財源	17,788	役員費	1,218
		委託料	2,037
		負担金補助及び交付金	
			12,423

各種講座の開催、老人憩の家の供用を通し、高齢者同士の交流や居場所づくりを促進し、生きがいと活動の場の創出を図る。

○老人趣味の家趣味講座運営費 7,829

【目的】

趣味講座の開催を通して高齢者の活動意欲を高めるとともに、参加者相互の交流を深める。

【4年度目標】

受講生にとってより活動しやすい環境の整備や講座の運営について、講師及び受講生との意見交換を行った結果を次年度の講座運営に反映する。

【実施内容】

高田西趣味の家で講座を開催（各講座年間おおむね38回）

<講座の開催状況>

区分	令和3年度 (見込み)	令和4年度
講座数	18	18
延べ受講者数(人)	7,764	11,012

○老人憩の家管理運営費 448

【目的】

趣味やレクリエーションの場として、磯野園を高齢者の日中の居場所として維持管理する。

【実施内容】

老人憩の家管理に係る鍵管理や冬囲い作業委託等

○老人福祉センター春日山荘補助金 12,423

【目的】

上越市社会福祉協議会が高齢者の健康の増進、教養の向上と趣味活動等の場として運営する老人福祉センター春日山荘の管理運営を支援し、高齢者の生きがいづくりや健康増進につなげる。

【実施内容】

春日山荘の管理運営費を補助

<趣味講座の開催状況>

区 分	令和3年度 (見込み)	令和4年度
講座数	31	31
延べ受講者数(人)	20,679	21,500

歳出科目（P 182～P 185）	3 款 1 項 5 目	老人福祉費
-------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ゲートボールハウス等管理運営費	10,343	11,214	△871

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	2,077	需用費	4,016
財産収入	142	役務費	361
一般財源	8,124	委託料	3,834
		使用料及び賃借料	2,038
		原材料費	13
		備品購入費	69

【目的】

ゲートボールハウス等の施設設備を維持管理し、高齢者の健康保持と交流の場を提供するとともに、高齢者の生きがいをづくりにつなげる。

【実施内容】

(1) 施設の維持管理 10,343

屋内ゲートボール場（7 施設）及び屋外ゲートボール場（2 施設）の維持管理と施設運営の委託

区分	施設名	所在地	コート数	予算
屋内	直江津ゲートボールハウス	有田区（佐内町）	2	972
	中部ゲートボールハウス	新道区（富岡）	2	1,433
	高田西ゲートボールハウス	金谷区（大貫）	2	1,062
	高田東ゲートボールハウス	津有区（本新保）	2	1,102
	安塚多目的交流施設	安塚区（安塚）	1	835
	大潟コミュニティスポーツハウス	大潟区（雁子浜）	2	906
	三和ふれあいホール	三和区（島倉）	2	1,465
屋外	春日山ゲートボール場	春日区（大豆）	8	2,556
	牧ゲートボール場	牧区（田島）	2	12
合計	9 施設		23	10,343

(2) 利用状況（延べ人数）（単位：人）

区分	令和3年度 （見込み）	令和4年度
屋内	36,272	32,623
屋外	6,123	7,362
合計	42,395	39,985

歳出科目 (P184~P185)	3款1項5目	老人福祉費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
老人クラブ助成事業	20,727	22,256	△1,529

主な財源		主な経費	
県支出金	9,657	負担金補助及び交付金	
一般財源	11,070		20,727

【目的】

会員同士の交流を深め、高齢者の生きがいと健康づくりの増進を図るため、老人クラブ及び老人クラブ連合会の活動を支援する。

【実施内容】

- (1) 老人クラブへの補助 14,566
- ・老人クラブ連合会に加入している単位老人クラブへの補助
 - ① 活動割額 3,500円×活動月数
 - ② 会員数割額 450円×会員数
 - ・老人クラブ連合会に加入していない団体への補助
 - ① 活動割額 1,500円×活動月数
 - ② 会員数割額 150円×会員数

区分		令和3年度 (見込み)	令和4年度
老人クラブ連合会に加入している単位老人クラブ	クラブ数	213	213
	会員数(人)	11,397	10,713
老人クラブ連合会に加入していない団体	団体数	33	33
	会員数(人)	1,336	1,326
合計	クラブ・団体数	246	246
	会員数(人)	12,733	12,039

- (2) 老人クラブ連合会への補助・・・13連合会 5,961
- ① 基準割額 194,400円
 - ② 構成団体割額 1,050円×構成団体数×活動月数
 - ③ 会員数割額 70円×会員数
- (3) 上越市老連連絡協議会への補助 200

歳出科目 (P184～P185)	3款1項5目	老人福祉費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
生きがいと健康づくり推進事業	3,925	3,790	135

主な財源		主な経費	
一般財源	3,925	需用費	75
		役務費	10
		委託料	3,840

【目的】

スポーツや趣味活動などを通し、高齢者同士の交流や市民との交流を深め、高齢者の健康増進と生きがいづくりにつなげる。

○シニアスポーツ大会 3,162

【実施内容】

- (1) 上越市老人クラブ連合会等と連携して開催する。新型コロナウイルス感染症の防止対策として日程の分散や競技種目を変更して行う。
- (2) 参加状況

区分	令和3年度※ (見込み)	令和4年度
参加者数(人)	536	2,891

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行い、浦川原区、大島区、大潟区、吉川区、中郷区、名立区で実施

○シニア作品展 351

【実施内容】

- (1) 上越市老人クラブ連合会等と連携して開催。高田西趣味の家・春日山荘の受講者等、創作活動を行う高齢者の作品を展示する(会場：上越市市民プラザ)。
- (2) 出品内容
書道、水彩画、陶芸、パッチワーク、水墨画、盆栽、ちぎり絵等
- (3) 出品等の状況

区分	令和3年度 (見込み)	令和4年度
出品者数(人)	322	372

○シニアゲートボール大会等 412

【実施内容】

- (1) 上越市老人クラブ連合会等と連携し、ゲートボールや輪投げ競技の大会を行う。
- (2) 参加状況

区分	令和3年度※ (見込み)	令和4年度
参加者数(人)	130	596

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行い、合併前上越市と牧区で実施

歳出科目（P184～P185）	3款1項5目	老人福祉費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
シニアパスポート事業	42,116	40,776	1,340

主な財源		主な経費	
一般財源	42,116	報酬	150
		旅費	7
		需用費	61
		役務費	270
		補償、補填及び賠償金	41,628

【目的】

高齢者に外出するきっかけを提供し、家族や仲間との交流を深めることで健康維持及び生きがいのある充実した生活を送ることができるよう支援する。

【4年度目標】

サービスを受けられる民間事業所の利用対象店舗数拡大を図るための調査・検討を行う。

【実施内容】

- (1) 70歳以上の高齢者を対象にシニアパスポートを発行し、パスポート提示者の市内の公共施設等の利用料金を半額程度に減免する。減免相当額については、指定管理者等へ市が補填する。
- (2) シニアパスポートの割引対象施設
くるみ家族園、吉川ゆったりの郷、鶉の浜人魚館など 32 施設
- (3) 利用者の状況

区分	令和3年度 (見込み)	令和4年度
延べ利用者数（人）	156,452	186,082

歳出科目（P184～P185）	3款1項5目	老人福祉費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ふれあいランチサービス事業	75,566	72,690	2,876

主な財源		主な経費	
諸収入	32,522	役務費	59
市債	8,400	委託料	75,507
一般財源	34,644		

【目的】

ひとり暮らし高齢者等にバランスのとれた食事を提供するとともに、配達時に安否確認を行い、高齢者等が健康で自立した生活ができるよう支援する。

【実施内容】

(1) 対象者

ひとり暮らし高齢者又は高齢者のみ世帯等で身体が虚弱な人のうち、アセスメントにより事業利用が適当と認められる人

(2) 内容

バランスのとれた食事を提供するとともに、手渡しで弁当を配達することにより安否確認を行う。

(3) 実施日

年末年始（12月31日～1月3日）を除く毎日

(4) 自己負担金

1食につき407円（おかずのみは305円）

区分	令和3年度 (見込み)	令和4年度
配食数（食）	92,895	96,710

歳出科目 (P184～P185)	3款1項5目	老人福祉費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
シニアサポートセンター運営事業	7	9	△2

主な財源		主な経費	
一般財源	7	役務費	7

【目的】

高齢者の積極的な社会参加及び相互の助け合いを促進するとともに、地域ボランティアのネットワークを広げることにより、共に支え合う社会づくりを推進する。

【実施内容】

利用会員と提供会員をシニアサポートセンターが仲介し、結び付ける。

(1) 援助内容

- ・ごみ出し、買い物、掃除、洗濯等の日常生活の援助
- ・趣味活動の援助
- ・話し相手等の孤独感解消の援助

(2) ボランティア利用料

- ・1時間当たり 500円

(3) 利用会員及び提供会員の状況

区分	令和3年度 (見込み)	令和4年度
利用会員(人)	7	7
提供会員(人)	6	6

(4) 利用件数

区分	令和3年度 (見込み)	令和4年度
延べ利用件数(件)	358	358

※利用者の希望に応じて、訪問型サービスB（有償ボランティアによる家事支援）に移行する。

歳出科目 (P184～P185)	3 款 1 項 5 目	老人福祉費
------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
シニアセンター管理運営費	3,030	6,944	△3,914

主な財源		主な経費	
一般財源	3,030	需用費	136
		役務費	36
		委託料	2,779
		使用料及び賃借料	5
		備品購入費	74

【目的】

シニアセンター直江津ふれあい館を設置することにより、高齢者の創作活動の発表の場や交流の場を提供し、高齢者の生きがいの充実を図る。

【実施内容】

(1) 施設の概要

直江津ふれあい館（住吉町3番5号 直江津小学校1階）

展示ギャラリーを設置し、趣味の家講座受講者や60歳以上の市民が趣味活動で創作した作品を展示する。

(2) 施設管理に係る需用費、各種業務委託等

光熱水費、営繕修繕料、施設管理業務、清掃用具借上料等

歳出科目（P184～P187）	3款1項5目	老人福祉費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
介護保険サービス利用者負担金等助成事業	28,691	27,789	902

主な財源		主な経費	
県支出金	5,186	役員費	78
一般財源	23,505	扶助費	20,512
		負担金補助及び交付金	
			8,101

【目的】

低所得者の介護保険サービス利用者負担金を助成することにより、介護保険サービスを利用しやすい環境を整える。

【実施内容】

- (1) 対象者：市民税非課税世帯であり、次の全ての要件に該当する人
 - ① 年間収入額が次の額以下であること
単身世帯：150万円、2人世帯：200万円（以降、世帯員1人増ごとに50万円加算）
 - ② 預貯金等の額が次の額以下であること
単身世帯：350万円、2人世帯：450万円（以降、世帯員1人増ごとに100万円加算）
 - ③ 日常生活に供する資産以外に活用できる資産がないこと
 - ④ 負担能力がある親族等に扶養されていないこと
 - ⑤ 介護保険料を滞納していないこと
- (2) 事業概要
 - ① 助成対象となる介護保険サービスについて、市が利用者負担金の4分の1の額を軽減する。
 - ② 助成対象となる介護保険サービスについて、介護保険事業所が利用者負担金の4分の1の額を軽減した場合は、補助金を交付する。
 - ③ 特定福祉用具購入及び住宅改修等について、市が利用者負担金の2分の1の額を軽減する。
- (3) 助成対象となる介護保険サービス
 - 居宅サービス
 - ・訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、福祉用具貸与、特定福祉用具購入、住宅改修
 - 施設サービス
 - ・介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院
- (4) 認定証交付対象者数

区分	令和3年度 (見込み)	令和4年度
認定証交付対象者数(人)	449	446

歳出科目 (P 186～P 187)	3 款 1 項 5 目	老人福祉費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
生活支援ハウス運営費	72,608	54,776	17,832

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	175	報酬	1,635
諸収入	4,317	需用費	6,478
市債	48,000	委託料	51,008
一般財源	20,116	使用料及び賃借料	305
		工事請負費	9,603
		負担金補助及び交付金	3,263

【目的】

独立して生活することに不安のある高齢者に対し、生活の場と交流の機会を提供し、安心して健康的な生活を送ることができるよう支援する。

【実施内容】

介護支援サービス、居住サービス及び交流の機会を総合的に提供する生活支援ハウスを指定管理で運営し、在宅生活に不安のあるひとり暮らし高齢者等の生活を支援する。

- (1) 指定管理施設 5 施設 68,498
 指定管理期間 5 年間 (令和 4 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日)
 開設期間 通年

施設名	定員等	入居者数等 (令和 4 年 1 月末現在)	指定管理者	指定 管理 委託料
浦川原生活支援ハウス	10 人 8 室	7 人 7 室	(福)上越市社会福祉協議会	9,662
頸城生活支援ハウス	10 人 9 室	6 人 6 室	(福)上越市社会福祉協議会	10,146
板倉生活支援ハウス	12 人 10 室	8 人 8 室	(福)上越市社会福祉協議会	7,658
清里生活支援ハウス	16 人 14 室	12 人 12 室	(福)上越市社会福祉協議会	8,490
名立生活支援ハウス	15 人 13 室	6 人 6 室	(福)上越市社会福祉協議会	12,870
合計	63 人 54 室	39 人 39 室		48,826

< 指定管理委託料以外の主な経費 >

- ・浦川原生活支援ハウス昇降機入替工事 9,603
- ・高齢者福祉施設修繕費負担金 (浦川原・名立高圧受電設備更新) 3,263

- (2) 直営管理施設 3,697

牧高齢者等福祉センター (開設期間：12 月 1 日～翌年 4 月 30 日)

定員等：10 人 10 室 入居者数等(令和 4 年 1 月末現在)：8 人 7 室

歳出科目 (P186～P187)	3款1項5目	老人福祉費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
高齢者交流施設管理運営費	1,362	1,622	△260

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	21	需用費	107
一般財源	1,341	委託料	817
		使用料及び賃借料	16
		負担金補助及び交付金	422

【目的】

大潟老人福祉センターを高齢者の趣味活動や健康づくりの場として提供する。

【実施内容】

高齢者交流施設の維持管理

- ・施設の管理委託

施設名	所在地	委託料	委託先
大潟老人福祉センター	大潟区 (九戸浜)	434	(福)上越市社会福祉協議会

- ・管理委託料以外の経費 (修繕料、施設設備点検委託等) 928

歳出科目（P186～P187）	3款1項5目	老人福祉費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
高齢者外出支援事業	17,316	17,621	△305

主な財源		主な経費	
一般財源	17,316	需用費	199
		役務費	1,329
		扶助費	15,788

【目的】

高齢者の外出を促し、閉じこもりによる体力低下及び認知症を予防する。

【実施内容】

タクシー及び路線バスで利用できる利用券を交付する。

(1) 対象要件

- ① 75歳以上のひとり暮らし高齢者
- ② 65歳以上の高齢者世帯に属する75歳以上の人
- ③ 上越市タクシー利用料金等助成事業（障害者対象）の交付対象者となる障害のある人と65歳以上の人の世帯に属する75歳以上の人

(2) 対象除外要件

- ① 上越市タクシー利用料金等助成事業（障害者対象）の交付対象者
- ② 介護保険の要介護認定者（要支援1・2は対象）
- ③ 市民税所得割課税世帯の人
- ④ 車を所有している世帯の人

(3) 交付枚数

年間 60枚（5枚／月×12か月×150円＝9,000円分）

有効期間：8月1日～翌年7月31日

(4) 利用状況

区分	令和3年度 (見込み)	令和4年度
発券者数（人）	2,443	2,520

歳出科目 (P 186～P 187)	3 款 1 項 5 目	老人福祉費
--------------------	-------------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
在宅介護手当給付事業	40,359	41,427	△1,068

主な財源		主な経費	
一般財源	40,359	役務費	162
		扶助費	40,197

【目的】

中重度の要介護者を在宅で介護している人に介護手当を給付し、介護者を慰労する。

【実施内容】

- (1) 対象者 要介護 3～5 の認定を受けた人を在宅で介護している人
- (2) 給付額 月額 3,000 円
- (3) 給付月 7 月、11 月、3 月
- (4) 給付状況

区分	令和 3 年度 (見込み)	令和 4 年度
給付者数 (人)	1,540	1,619

歳出科目（P186～P187）	3款1項5目	老人福祉費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
地域福祉ボランティア事業	79	100	△21

主な財源		主な経費	
一般財源	79	需用費	27
		役務費	52

【目的】

高齢者の活躍の場を創出し、高齢者の介護予防・生きがいつくりの増進を図るとともに、市民が介護や福祉への理解を深めるよう支援する。

【4年度目標】

登録者数を前年度以上とする。

【実施内容】

市民が福祉施設等で地域福祉ボランティアとして活動できる環境づくりを行う。

- (1) ボランティア登録者
15歳以上（中学生を除く）の要介護認定を受けていない人
- (2) ボランティア受入先
福祉施設（介護保険事業所、障害福祉サービス事業所等）
- (3) ボランティアの活動内容
話し相手、お茶出し、配膳補助、草取り、その他補助的作業等
※ボランティア登録者が65歳以上の場合は、介護保険特別会計で事業を実施する。

（参考）

令和3年度登録者数（見込み） 28人

提出課	福祉課
-----	-----

歳出科目（P188～P189）	3款1項7目	リゾートセンター費
-----------------	--------	-----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
くるみ家族園管理運営費	27,969	21,477	6,492

主な財源		主な経費	
一般財源	27,969	需用費	9,192
		委託料	18,775
		使用料及び賃借料	2

【目的】

家族やグループが心身のリフレッシュと健康増進を図る目的で、気軽に利用できる憩いの場を提供する。

【実施内容】

- (1) 指定管理者
株式会社 メディカル&ケア（指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日）
- (2) 業務内容
施設及び設備の維持管理並びに利用の承認

<施設の概要>

- (1) 所在地
上越市東中島 2487 番地（平成元年 12 月開設）
- (2) 構造等
鉄筋コンクリート造平屋建 延床面積 1,847.67 m²
- (3) 施設内容
浴場、和室、多目的ホールなど

提出課	すこやかなくらし包括支援センター
-----	------------------

歳出科目 (P 190～P 191)	3 款 2 項 1 目	児童福祉総務費
--------------------	-------------	---------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
子どもの育ち支援事業	25,872	19,222	6,650

主な財源		主な経費	
国庫支出金	9,153	報酬	11,524
県支出金	13	給料	5,360
一般財源	16,706	職員手当等	3,400
		共済費	3,444
		旅費	728
		需用費	1,136

子どもの虐待予防や、課題を抱える家族への支援を通して、子どもがすこやかに育まれる環境を整える。

○子どもの虐待予防推進事業 18,517

【目的】

保護者が抱える子育てに関する不安や負担感を軽減し、子どもの虐待防止につなげる。

【4年度目標】

子どもの虐待予防出前講座の受講人数を増やす。

【実施内容】

- ・関係機関がそれぞれの役割や活動内容を確認し、連携して対応するため、要保護児童対策地域協議会を開催する。
- ・子どもの虐待に関する連絡があった時には、社会福祉士や家庭児童相談員等の専門職が児童相談所等の関係機関と連携し、子どもや保護者の状況に応じた支援を行う。
- ・子どもたちからの発信を的確に受け止め、その対応方法について学ぶため、保育園や学校等の職員を対象とする虐待対応研修等を開催する。
- ・市民への啓発を図るため、子どもの虐待予防出前講座を実施する。

○すこやかな育ち総合支援事業 7,355

【目的】

課題を抱える子どもやその家族の相談に応じながら支援することにより、子どもがすこやかに日常生活を送ることができるようにする。

【4年度目標】

すべての私立保育園や幼稚園等に対し、相談支援ファイル「わたしのきろく」の活用を働きかける。

【実施内容】

- ・臨床心理士や相談員等が、課題を抱える子どもやその家族の状況を丁寧に聞き取り、関係機関と連携しながら必要な支援を行う。
- ・保育園や学校、関係機関等の職員を対象に、相談支援ファイル「わたしのきろく」の活用に関する研修を実施する。

提出課	すこやかなくらし包括支援センター こども発達支援センター
-----	---------------------------------

歳出科目 (P200～P201)	3款2項6目	こども発達支援センター運営費
------------------	--------	----------------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
こども発達支援センター事業	26,615	22,367	4,248

主な財源		主な経費	
諸収入	10,785	報酬	1,489
一般財源	15,830	給料	14,969
		職員手当等	3,450
		共済費	3,639
		需用費	1,040
		使用料及び賃借料	1,033

発達に遅れ等のある子どもへの療育や子どもの成長や発達に応じた保護者への支援を通して、子どものすこやかな育ちを育む。

○児童発達支援事業 26,102

【目的】

子どもの発達に不安や悩みを抱える保護者の相談に対応するとともに、発達に遅れ等のある子どもの療育などの支援を行い、子どものすこやかな育ちを育む。

【4年度目標】

私立保育園や幼稚園等における保育所等訪問支援の利用促進を図るため、集団生活への適応に配慮が必要な子どもへの関わり方についての研修会を実施する。

【実施内容】

(1) 国の制度に基づく障害児福祉サービスとしての事業

- ・障害のある子どもを対象に、障害児相談支援や児童発達支援（療育支援）、保育所等訪問支援を行う。

区分		令和3年度 (見込み)	令和4年度
障害児相談支援	利用者数(実人数・人)	50	50
	延べ件数(件)	170	170
児童発達支援	利用者数(実人数・人)	50	50
	延べ件数(件)	700	700
保育所等訪問支援	利用者数(実人数・人)	12	15
	延べ件数(件)	100	210

(2) 市独自事業

- ・子どもの発達に不安や悩みを抱える保護者への相談支援を行うとともに、発達に遅れ等のある子どもへの療育支援を実施する。
- ・保育士と臨床心理士がチームとなって、保育園等を訪問する巡回相談を実施する。
- ・支援が必要な子どもを療育支援等につなげるため、休日相談会を実施する。

区 分		令和3年度 (見込み)	令和4年度
相談支援	利用者数(実人数・人)	520	520
	延べ件数(件)	1,430	1,430
療育 支 援	親子療育	利用者数(実人数・人)	35
		延べ件数(件)	880
	個別・小集団 療育	利用者数(実人数・人)	325
		延べ件数(件)	4,860
保育園等巡回相談	実施件数(件)	140	
休日相談会	実施回数(回)	1	
	参加親子	3組(6人)	5組(10人)

○一時保育支援事業 295

【目的】

こども発達支援センターを利用する子どもの一時保育を通して、保護者の子育てに係る負担の軽減を図る。

【4年度目標】

子どもの特性に応じた配慮を行い、一時保育中の事故やけがを防止する。

【実施内容】

- (1) 内 容 保護者が通院やリフレッシュなどを行う時に、子どもの一時保育を実施する。
経管栄養などの医療行為が必要な子どもに対しては、看護師を配置して対応する。
- (2) 対 象 者 センターを利用しているおおむね生後3か月からの未就園児
- (3) 実施日時 月曜日から金曜日まで(祝日、年末年始を除く)
午前8時30分から午後5時15分まで
- (4) 利用料金 4時間未満500円、4時間以上900円
- (5) 利用状況

区 分	令和3年度 (見込み)	令和4年度
利用者数(実人数・人)	9	9
延べ件数(件)	64	64

【目的】

保護者の子育てに関する不安や負担感の軽減を図るとともに、家庭における子どもを育てる力を高め、子どものすこやかな育ちを育む。

【4年度目標】

「丁寧な親子コミュニケーション支援」の参加者が、家庭において、子どもの特性に合わせた関わりができるようにする。

【実施内容】

(1) 基本的な親子コミュニケーション支援

健康診査等を受ける乳幼児や保育園・幼稚園に通う年少児の保護者等を対象に親子間のコミュニケーションを学ぶ機会を設ける。

① 乳幼児健康診査等の健康教育において実施 (単位：回)

区 分	令和4年度
すくすく赤ちゃんセミナー	30
3か月児健康診査	48
1歳児健康診査	48
1歳6か月児健康診査	48
2歳児健康診査	48
3歳児健康診査	48

② 保育園・幼稚園等において実施 (単位：園)

区 分	令和4年度	
	園数	実施園
公立保育園	34	34
私立保育園	12	12
公立幼稚園	2	2
私立幼稚園	4	2
認定こども園	15	11

(2) 丁寧な親子コミュニケーション支援

こども発達支援センター利用児や支援を要する小学校低学年の児童の保護者等を対象に、子どもの特性に合わせた関わり方を学ぶ学習会を実施する。

(単位：回)

区 分	令和4年度
就学前グループ	4
就学後グループ	4
参加者フォローアップ	2
修了生交流会	1

(3) 保育士や保健師等を対象とした職員向け研修会の実施

- ・親子コミュニケーション支援について、更に効果的な取組にするための研修会を実施する。(2回)
- ・発達特性のある子どもへの支援について学ぶ研修会を実施する。(3回)

提出課	福祉課
-----	-----

歳出科目 (P 202～P 203)	3 款 3 項 1 目	生活保護総務費
--------------------	-------------	---------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
保護事務費	24,115	22,061	2,054

主な財源		主な経費	
国庫支出金	8,435	報酬	13,488
一般財源	15,680	旅費	767
		職員手当等	2,677
		役務費	2,683
		共済費	2,724
		委託料	1,192

【4 年度目標】

相談者に対し、生活保護制度や他法・他施策の説明などきめ細かな面接相談を行い、必要な支援に迅速につなげる。

【実施内容】

- (1) 被保護者就労支援事業（就労支援員 2 人） 5,419
就労が可能な被保護者に、個々の状況に応じた段階的な就労支援を行う。
- (2) 生活保護相談事業（面接相談員 1 人） 3,176
他法・他施策の説明なども含め、生活保護の制度及び申請方法について、きめ細かな面接相談を行う。
- (3) 適正化事業 15,520
 - ① 医療扶助費の適正化（診療報酬明細書点検専門員 1 人）
診療報酬明細書の請求内容について、医療事務資格を有する診療報酬明細書点検専門員が審査・点検し、医療扶助費の適正化を図る。
 - ② 被保護者健康管理支援事業
生活習慣病などの発症及び重症化の予防のため、保健師と連携し 40 歳～74 歳までの被保護者に健康診断の受診を勧めるほか、ハイリスク者に対し、医療受診勧奨や生活指導を行う。
 - ③ 職員研修事業
職員の社会福祉についての知識の向上を図るため、社会福祉主事の資格取得及び各種研修を実施する。

歳出科目（P202～P203）	3款3項2目	扶助費
-----------------	--------	-----

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
扶助費	1,888,107	1,831,749	56,358

主な財源		主な経費	
国庫支出金	1,390,579	一般財源	436,023
県支出金	27,505	扶助費	1,888,107
諸収入	34,000		

【目的】

生活保護法に基づき、被保護者に対して生活扶助費等を支給し、最低限度の生活を保障するとともに自立に向けた支援を行う。

【実施内容】

- ・ケースワーカーが、訪問、電話等により実態把握を行いながら、被保護者の安定的な日常生活の確保や健康維持を目的とした支援に取り組む。
- ・就労可能な被保護者が早期に経済的に自立できるよう、引き続き就労支援を行うなど、被保護者それぞれの自立に向けた支援に取り組む。

<扶助費の状況>

区分	令和3年度 (見込み)	令和4年度
生活扶助費	499,381	512,331
住宅扶助費	202,502	207,579
教育扶助費	6,515	6,627
介護扶助費	82,268	82,518
医療扶助費	892,888	964,406
出産扶助費	1,285	1,024
生業扶助費	2,649	2,640
葬祭扶助費	1,501	1,077
施設事務費	112,967	108,256
就労自立給付金、 進学準備給付金	1,449	1,649
合計	1,803,405	1,888,107

<生活保護の状況>

(月平均値)

区分	令和3年度 (見込み)	令和4年度
被保護世帯数(世帯)	998	1,030
被保護者数(人)	1,290	1,338

提出課	地域医療推進室
-----	---------

歳出科目（P204～P205）	4款1項1目	保健衛生総務費
-----------------	--------	---------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
地域バス運行事業	4,345	4,231	114

主な財源		主な経費	
一般財源	4,345	需用費	552
		役務費	44
		委託料	3,749

【目的】

無医地区である吉川区川谷地区住民の通院を支援して、医療不安の軽減を図るとともに、スクールバス等の利用が困難な地域における児童生徒の通学手段を確保する。

【実施内容】

- (1) 運行形態
 - ① 通常運行（定時便：月曜日から金曜日） 1日2回
 - ② 通常運行（デマンド便：月曜日から金曜日） 1日9回
 - ③ 臨時運行 随時 学校行事等が運休日に実施される場合等
- (2) 令和3年度見込み及び令和4年度計画

区分	通院等		通学	
	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
運行日数（日）	175	170	208	209
運行回数（回）	215	210	416	418

※通院等には、通院以外の移動も含む。

※令和4年1月31日現在、通学利用者の実人数は小学生1、中学生1